

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	03	01	02	0406	社会参加活動推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

高齢者の社会参加・社会貢献活動の推進

《事業開始の背景》

昭和37年老人福祉法制定以後、老人クラブ育成の機運が高まり各地域でクラブ結成が進み組織として、現在は高齢者がいきいきと暮らすため、組織として補助を得ながら、生きがいつくりや健康づくりなどの活動に取り組むとともに、地域づくり、まちづくりに寄与する団体となっている。

《事業概要》

- ・老人クラブ事業補助金
  - ・老人クラブ連合会事業補助金
  - ・老人クラブ特別活動事業補助金
- ①老人クラブ151団体：会員である高齢者の豊かな知識や経験を生かして、スポーツ、文化活動、友愛活動、奉仕活動などを行う。
- ②花巻市老人クラブ連合会：市老人クラブ大会、指導者研修会、健康づくり事業（スポーツ大会等）を開催する。県シルバースポーツ大会、県老人クラブ大会等に参加。特別活動事業実施。

市民参画の有無 [ 無 ]

《事業展開の留意事項》

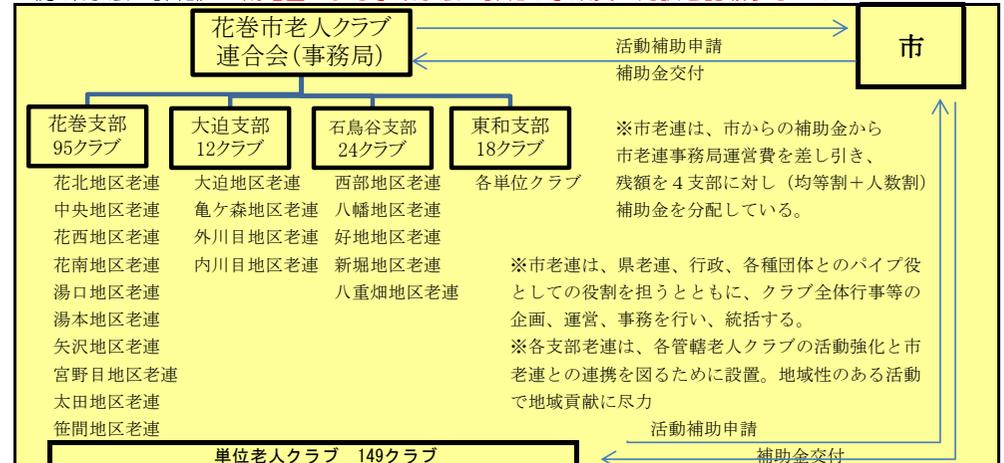
《成果指標》

項	目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	60歳以上における老人クラブ会員数の割合	%	目標	24.2	24.0	
			実績	20.3	19.6	
②	市老人スポーツ大会参加者数	人	目標	1,000	1,000	
			実績	700	中止	
③	市老人クラブ大会参加者数	人	目標	1,000	1,000	
			実績	800	1,200	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	長寿福祉課	坊澤尚行	514

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	7,486				
財源内訳	国県支出金	3,661			
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,825			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること



- ・老人クラブ活動事業補助金・・・H25決算額 4,609千円  
 会員数規模による定額補助(県補助金交付基準による)  
 基準 11~30人 28,800円 → 41クラブ 1,180,800円  
 31~50人 30,000円 → 60クラブ 1,800,000円  
 51~60人 33,600円 → 22クラブ 739,200円  
 61~80人 34,800円 → 17クラブ 591,600円  
 81人以上 37,200円 → 8クラブ 297,600円  
 4,609,200円 計  
 (県補助分3,073,000円、市補助分1,536,200円)
- ・老人クラブ連合会事業補助金・・・H25決算額 2,477千円  
 補助金 484,000円(A) = 均等割部分165,000円 + 6,380人(H25会員数) × 会員割部分50円  
 (県基準) ・ 県補助割合2/3 322,000円 市補助割合1/3 162,000円  
 市嵩上げ分 1,992,800円(B) = H24補助基準498,200円 × 4 (従来: 県補助基準額 × 4)  
 補助総額 (A) + (B) = 2,491,000円 (県国補助分332,000円 + 市補助分166,200円 + 1,992,800円)
- ・老人クラブ連合会特別活動事業補助金・・・H25決算額 400千円  
 400,000円(県国補助分266,000円、市補助分134,000円)

社会参加活動推進事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	02	0406	社会参加活動推進事業

総合計画	政策	保健・医療・福祉のネットワーク 拡充で安心のまちづくり	施策	高齢者や障害者がまちで暮らす真の ノーマライゼーションへの取り組み
目的	高齢者の社会参加・社会貢献活動の推進			
対象	おおむね60歳以上の者			
意図	高齢者が、健康で豊かな生活が送れるようになる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

・老人クラブ事業補助金  
・老人クラブ連合会事業補助金  
・老人クラブ特別活動事業補助金

①老人クラブ151団体：会員である高齢者の豊かな知識や経験を生かして、スポーツ、文化活動、友愛活動、奉仕活動などを行う。  
②花巻市老人クラブ連合会：市老人クラブ大会、指導者研修会、健康づくり事業（スポーツ大会等）を開催する。県シルバースポーツ大会、県老人クラブ大会等に参加。特別活動事業実施。

市民参画の有無 [ 無 ]

市民協働の形態  共催  実行委員会・協議会  事業協力・協定  
 後援・協賛  補助・助成  委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 活動している老人クラブ数	団体	計画	154	153	
		実績	151	148	
② 老人クラブ会員数	人	計画	6,867	6,664	
		実績	6,664	6,444	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 60歳以上における老人クラブ会員数の割合	%	目標	24.2	24.0	
		実績	20.3	19.6	
② 市老人スポーツ大会参加者数	人	目標	1,000	1,000	
		実績	700	中止	
③ 市老人クラブ大会参加者数	人	目標	1,000	1,000	
		実績	800	1,200	

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い
・高齢者の趣味や生きがいが多様化 ・老人クラブ活動に対する高齢者の参加意欲の低下 ・就労年齢の上昇により、高齢者でも現役就労者が増加				

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

全国的に老人クラブの会員数の減少問題を抱えている。会員加入促進のため魅力ある活動、組織づくりが求められている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	老人福祉法に基づき、老人クラブ活動への支援は市町村の責務である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	老人クラブ活動は地域づくり、高齢者の健康づくりや介護予防活動の担い手として位置づけられる。魅力ある活動の創出を図り、活性化を促して行く必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	県の補助基準に基づいた補助金と市独自の補助金を上乗せ交付している。現状以下での補助金額になると老人クラブの反発が大きい。また連合会事務員は最小限の人員で臨んでおり削減の余地は無い。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	各老人クラブの活動経費は、相応の会員負担が伴い、市補助金については会員数に比例した補助金が交付されている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

単位老人クラブ、市老人クラブ連合会の円滑な組織運営、活発な事業活動を図るため、補助金の交付等側面的支援を行い、クラブ会員のほか地域高齢者の豊かな知識や経験を生かした活動（クラブ大会）、地域高齢者の交流促進やそれぞれの地域での地域貢献活動などへの取り組みが行われた。